

1. 地域経済と課題

- (1) 日本商工会議所の調査によると、3120社のうち68%が人手不足と回答。15年の調査開始以来過去最悪。特に介護・看護、宿泊・飲食、運輸、建設で人手不足が深刻。「月報からつ」のフルタイム常用バランスシートを見ると、看護師等1.96倍、給仕等1.56倍、トラック運転等2.05倍、建築技術者等9.69倍。
- (2) 2023年の上半期の出生・死亡の全国と唐津の比較の表である。

	全国	増減	唐津	増減
出生数	384,942人		359人	
出生数	371,052人	△3.6%	341人	△5.0%
死亡数	777,213人		948人	
死亡数	797,716人	2.6%	1,003人	5.8%

※上段は22年、下段は23年の上半期の数値である。

 - ①コロナ後も出生数の回復がない。②全国では死亡が出生の約2倍であるのに対し唐津のそれは約3倍である。③表にはないが出生数一桁の旧町村は厳木ゼロ、七山2人、呼子6人、鎮西7人、肥前8人の計23人。同じ地区の死亡は計243人。
- (3) タクシーの料金が10月25日から値上がりする。初乗り現行730円から810円(1.5km)、加算運賃80円は距離が271mから246mに短くなる。観光唐津のイメージや短距離でもタクシーを利用する高齢者の利便性と経営側の燃料費高騰と運転手の待遇改善とのバランスをとるのが難しい。
- (4) インボイスが10月1日から施行された。従来の免税事業者の状況を注視していく必要がある。全国では免税事業者約460万社のうち約111万社がインボイス登録したとみられるとのこと(日経新聞等)。

2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 7月から9月までの第2四半期では巡回420件、窓口530件を行った。前期比、巡回件数は181.9%の大幅増、窓口件数は7.3%減の微減である。当所セミナー案内や県・市の助成金関連の周知広報のために積極的に巡回を実施。
- (2) 10月からインボイス制度が始まっているものの「インボイス」という言葉だけが先行して、内容については詳しく知らない事業者が多い。当所ではインボイス内容や登録等の相談への対応を行っている。
- (3) 佐賀県は、県内の最低賃金が900円に引き上げられたことに伴い(10月14日～)、小規模事業者に対して、生産性の向上につながる設備の導入などの費用を補助する「佐賀型賃金UP支援補助金(第二次募集)」を公募中。当所では概要説明や必要書類等、申請のための支援を行っている。申請期限は、11月30日まで。

3. LOBO 調査(早期景気観測)&中小企業景況調査

(1) LOBO 調査【令和5年10月調査】

業況DIは、物価高とコスト増の継続で悪化。先行きは、さらなるコスト増や人手不足等で厳しき続く。

- ・全産業合計の業況DIは、▲10.5(前月比▲1.5ポイント)

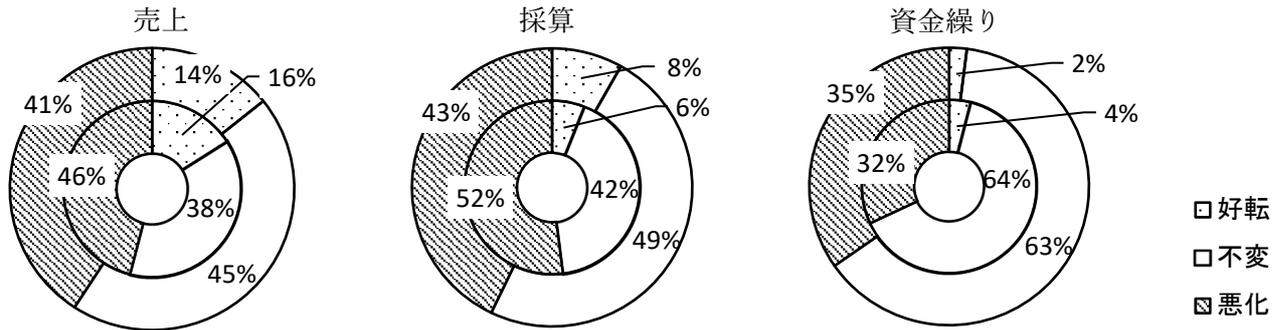
全国：小売業は、物価高で買い控えが続く中、人手不足に伴う人件費の増加で悪化した。サービス業は、物価高による生活関連サービスの需要停滞で横ばい圏内で留まり、卸売業は、小売・サービス業からの引き合い減少でほぼ横ばいとなった。製造業は、自動車関連が好調な一方、エネルギー価格の高騰によるコスト増が全体を押し下げ、建設業は、公共工事の受注増で改善を示すも力強さを欠いている。エネルギー価格の高騰や最低賃金の上昇等でコスト増が継続する中、これに見合った十分な価格転嫁が行えていない。また、深刻な人手不足に加え、インボイス制度等の諸課題への対応も重なり、中小企業の業況は悪化に転じた。

九州：業況DIは改善。建設業では、国土強靱化関連工事等、公共工事の受注が増加しており、売上・採算が改善した。熊本県の事業者からは、TSMCの半導体工場の進出を受け、進出地周辺の道路工事や工業団地の造成等、今後のさらなる発注増加を期待する声が聞かれた。卸売業では、建設業からの引き合い増加により、建築材料関係を中心に売上・採算が改善した。

(2) 中小企業景況調査【令和5(2023)年7月～9月調査】

円グラフの外側：前年同期（2022年7～9月）と比べた今期（2023年7～9月）の状況

内側：前々年同期（2021年7～9月）と比べた前年同期（2022年7～9月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

- | | | |
|--------------|-------------|------------------|
| 製造業：原材料価格の上昇 | 小売業：需要の停滞 | サービス業：材料等仕入単価の上昇 |
| 建設業：従業員の確保難 | 卸売業：仕入単価の上昇 | |
- 原材料等の仕入れ単価の上昇が3業種で大きな問題となっている。

4. 唐津の街のトピックス

- 高島で「空き家を利用した離島での体験、滞在型ゲストハウス&カフェ事業」が進んでいる。事業者は（株）新航丸で、国の事業再構築補助金を活用している。
- 外務省所管の独立行政法人「国際交流基金（The Japan Foundation）」が全国から10のミニシアターを選び10分ほどのショートムービーを制作して世界に発信した。その中に「シアターエンヤ」が選ばれた。
- 食の街・唐津に新たな飲食店が開店（準備を含む）している。ユニパスタ料理「青天堂」（原）、フレンチ「レストラン□□□※」（坊主町）、和食「唐津さかもと（仮称）」。
- 「私の幸福（しあわせ）時間」でSUPを楽しむ馬場さんが取り上げられていた。どんな観光PRムービーより唐津の魅力を紹介している。観光に行ってみたい、移住してみたいと思わせる。
- 高知出身の前田崇治さんは、七山に「紙漉思考室」を構えられている。その製品は、インテリアデザイナーの高須学さん率いるTGDA（Takasu Gaku Design & Associate）とのコラボで福岡赤坂「茶寮山科」の新店舗の壁にも取り入れられている。こうした隠れた人材に唐津の活性化に貢献してほしい。
- 「70年前の輝きを再び！旧酒蔵で『角打ちBAR』をつくりたい」の想いでクラウドファンディングを実施。目標500万円を超過達成（522万円）。500万円のクラファンは唐津では最高額のはず。来年2月のオープン。
- 今年は筑肥線電化40周年に当たるが、唐津線全線開通120周年にも当たる。石炭運送のために唐津側から延伸していき1903（明治36年）年12月14日に荻原駅～久保田駅が開通。荻原駅は現在の多久駅。
- ある病院ではQRコードから予約でき、個人番号が示される。同じQRコードから診療中の番号がわかるので時間を見計らって病院に行くことが可能。院内待ちと院外待ちに分かれるので待合室の面積が少なく済む。
- JETROは世界主要都市の市場価格調査をHPに公開している。「どん兵衛 特盛」はニューヨークで5.99\$（22.12～23.3、149円/\$で892円）、いっぽうファミマ市役所前店では271円。こんなところにも、賃金と物価の好循環の必要性が見て取れる。
- アサヒビールマルエフのCM撮影が、10月13日の早朝、唐津城を背に西の浜で行われた（らしい）。オンエアが待たれる。唐津の観光宣伝になることが期待される。

※□□□は「なし」

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーター』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp